

**訪中報告：
中国科学院・2010年度
橋口隆吉賞授賞式
に出席して**

2012年6月5日
日中科学技術交流協会講演会
東大山上会館

**日中科学技術交流協会
副理事長
山脇 道夫**

- ・日時: 2011年7月19日
- ・場所: 哈爾濱(ハルビン)市の哈爾濱工業大学
- ・中国科学院の橋口隆吉賞委員会から有山正孝理事長あて受賞式に本協会から2名参加の招待
- ・有山理事長と山脇副理事長が2泊3日の日程で哈爾濱を訪問
- ・橋口賞は、本協会第2代会長故橋口隆吉先生の私財寄託による基金により運営
- ・材料科学の分野で優秀な業績を挙げた中国の若手研究者に授与

今年度の受賞者:

- ・周玉博士(ハルビン工業大学副学長)
- ・韓恩厚博士(中国科学院金属研究所瀋陽分所教授)
(前回に続き中国の材料科学分野で指導的立場にある研究者が選ばれた)

周玉博士: 中国工程院院士、中国機械工程学会理事、材料分会理事長
長く先進セラミックスとセラミックス複合材料の教育・研究に尽力
セラミックスの相変化と靱性、航空宇宙用耐熱セラミックス複合材料と応用の分野で顕著な研究成果
国家技術発明2等賞1件、省部級科学技術賞7件、国家発明5件、著書教材出版5部、全国普通高校優秀教材1等賞1件、博士研究者養成32名、修士研究者養成30余名など

韓恩厚博士: 中国科学院金属研究所瀋陽分所の国家金属腐食防食工程技術研究センター主任兼教授
金属腐食の先進的研究を行い、顕著な業績
特に、原子力材料分野で、応力腐食割れ、水素脆化、腐食疲労など、航空材料としてマグネシウム合金など、その他、ナノ複合被覆、苛酷環境腐食など、多方面の先端材料分野で業績
国家科学技術賞2等賞1件、国家技術発明賞2等賞1件を始め、十指に余る受賞歴

2010年度“桥口隆吉基金奖”颁奖仪式



授賞式： 7月19日午前8時30分から、ハルビン工業大学の活動センター214室で、来賓ならびに同大学の職員・学生約400名列席の下で開催

- ・司会： ハルビン工業大学副学長 任南琪教授
- ・歓迎挨拶： 同大学王樹国学長
- ・基金会の事業報告： 邱華盛中国科学院合作局局長助理(橋口基金会秘書長で我々とは旧知)
- ・今年度選考経過の説明： 院士の師昌緒博士(橋口基金会理事長で橋口先生とは米国留学時代からの友人)
- ・祝辞： 日中科学技術交流協会代表有山正孝理事長
- ・受賞者へ賞状と楯を授与： 有山理事長と師昌緒理事長
- ・謝辞： 周博士、韓博士
- ・ハルビン工業大学荣誉教授授与と講話： 師昌緒博士

2010年度“桥口隆吉基金奖”颁奖仪式



2010年度“桥口隆吉基金奖”颁奖仪式



2010年度“桥口隆吉基金奖”颁奖仪式





ハルビン工業大学： 1920年に創立された中国の重点大学の一つ

- ・工学を主とし、理学、文学、人文、外国語学科を併せ持つ総合大学で、17の学院を有する
- ・在籍学生数は4万5000人あまりで、そのうち約1000人は留学生
- ・730人余の教授、1110人余の副教授、19人の院士(工程院院士と科学院士)がいる
- ・日本を含む外国の350の大学、企業と提携
- ・日本が東北地方を支配していた時代には、日本人が大学を經營して、多くの日本人学生が通っていたことが、大学博物館の展示に写真入りで淡々と示されていた

ハルビン：中国東北地方で最大の政治・経済・文化の中心都市で、緯度が宗谷海峡くらい北にあり、冬の雪まつり、夏の松花江などには、数えきれないくらいの観光客が訪れる。

・ロシア風の建物が残る古い街並みや、松花江を案内され、日本とのかかわりのあった歴史の流れに思いを馳せるひと時であった

橋口賞と橋口実験室の由来

米国留学中の友人との交流から寄付を決意された：

- ・李恒徳博士(後、精華大学教授、院士)
- ・師昌緒博士(後、科学院金属研究所長、院士)

実験室設備資金：1500万円

橋口賞基金設立資金：1500万円

1996年に初回分寄付、同年橋口先生逝去、
その後菊奥様から残る500万円が寄付された

1997： 第1回橋口賞受賞式

2000：精華大学橋口実験室落成式

橋口賞略史

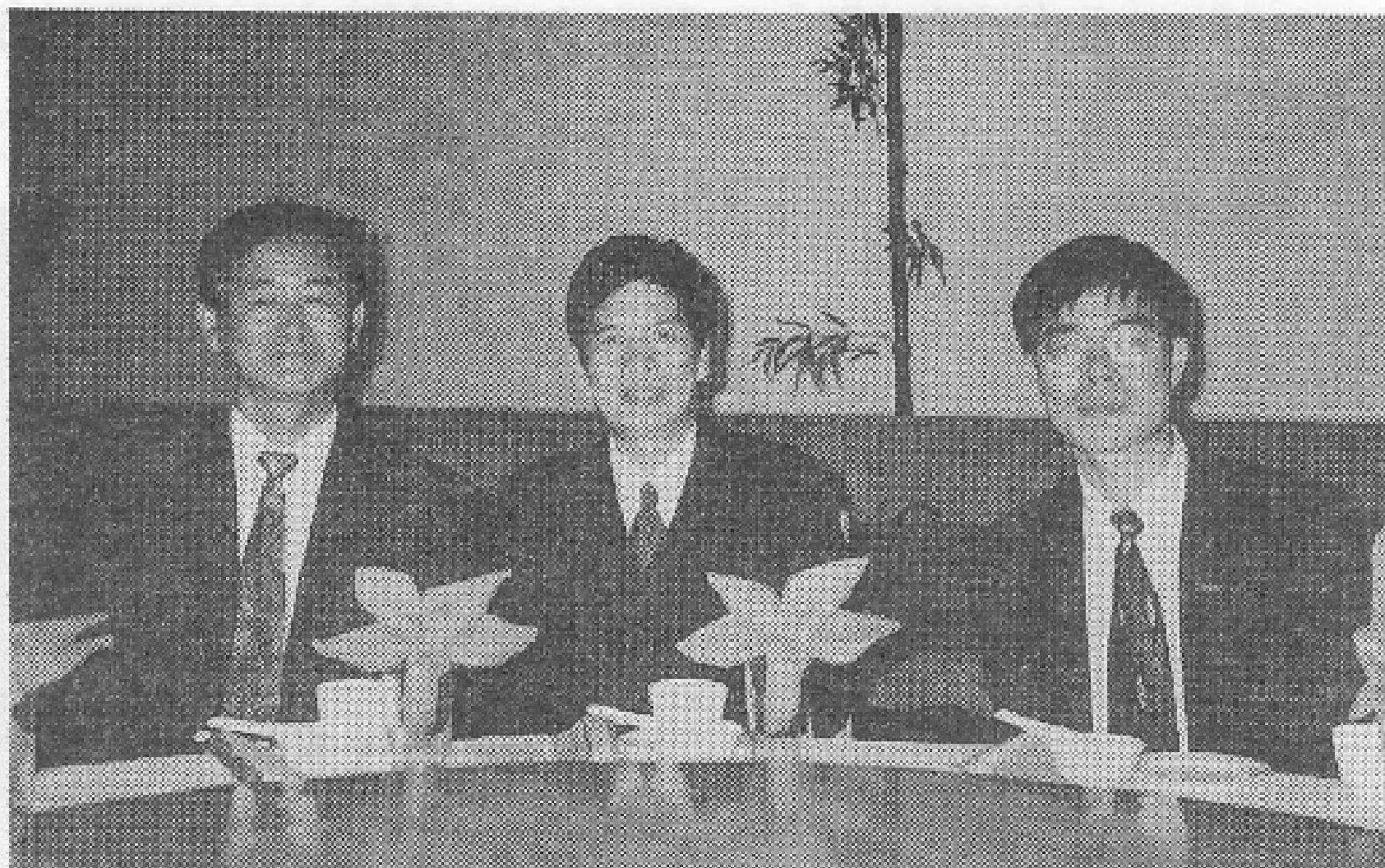
- 1998.2.10 第2回授賞式 上海市中国科学院好望角大飯店
菅野昌義第3代会長出席 (菊未亡人欠席)
受賞者: ・嚴東生 (科学院上海ケイ酸塩研究所名誉所長、80歳) セラミックス
・閔恩沢 (中国石油化工総公司会主席総工程師、74歳) 石油化学
- 1999.9.22 第3回授賞式 瀋陽市科学院金属研究所
菅野会長出席 (菊未亡人欠席)
受賞者: ・解思深 (科学院物理研究所教授)
・成会明 (科学院金属研究所教授、副所長)
・范守善 (精華大学物理学教授)
いずれもカーボンナノチューブの研究者で、ともに40歳台
- (・2000.10.10 橋口実験室落成式 精華大学 菅野会長夫妻、小岩昌宏京大教授
(菊未亡人代理)、藤田英一阪大名誉教授 出席)
- (・2003.1 菅野会長逝去)
- 2003.2.24 2002年度授賞式 広州市中山大学
有山正孝第4代会長(後、理事長)出席
受賞者: ・盧柯 (科学院瀋陽金属研究所長、40歳台) ナノマテリアル
・許寧生 (中山大学教授、理工学院長、40歳台) 光電子技術



左側より関恩沢院士、師昌緒院士、菅野会長、
巖東生院士



授賞式で祝辞を述べる菅野会長



受賞者：左側より解思深教授、范守善教授、
成会明副所長



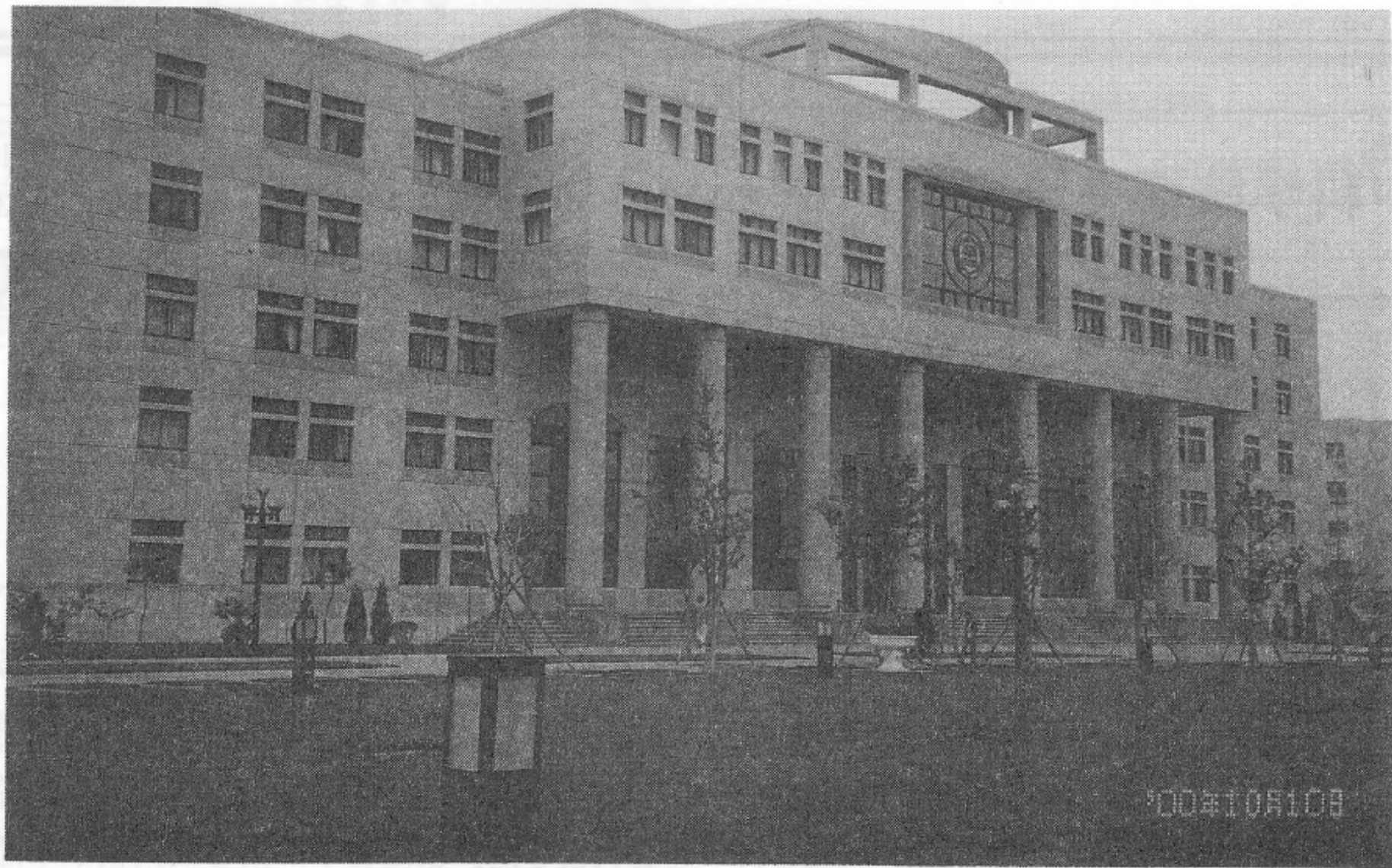


写真1. 橋口隆吉実験室のある清華大学材料系研究教育棟



写真3. 左から德利普路新機械工業代表取締役金波音氏、二人おいて馬教授、副学長何建坤教授、李恒徳先生、中国科学院物理研究所李林教授、菅野会長、同夫人、藤田教授、小岩教授

・橋口賞が中国で権威のある賞として大切に維持されてきていることを実感でき、橋口先生の偉業にあらためて感謝の念を抱くとともに、中国の懐の深さにも感じ入った。

ご清聴有難うございました。